

こうのす民報

議会報告版

2018年7・8月号 第393号

新ごみ処理施設建設は市民の合意と納得で

鴻巣行田北本環境資源組合が進める新ごみ処理施設は安養寺・郷地地区に5・5ヶ所の建設予定で進められています。

この新ごみ処理施設建設候補地は、土地改良事業をしたところで、2020年以降でなければ農地転用もできません。後背湿地といわれる田んぼは、昨年の台風21号の時は一面冠水し、5mもの盛土が必要だといわれています。再度見直すよう日本共産党は求めきました。

2月15日環境資源組合議会で、市民には52箇所から選定したと説明してきましたが53箇所あつたことが明らかになりました。その後、会議録が開示される中で、2番目に評価が高かつた個所を事務局が削除したことを認め、陳謝しましたが、事務方だけで判断できるものでしょうか?

候補地選定支援業務会議の記録からは、候補地ありきの選定が行われていたと思われる会話記録が出てきました。現在の候補地は問題が多いと思います。

市民の毎日の生活にかかるごみ処理事業です。貴重な税金が使われる大事な事業なだけに、適切な規模で適切な場所に建設することが必要ではないでしょうか。

日本共産党は、市民が納得できるごみ処理施設建設の為に力を尽くしています。

日本共産党鴻巣市委員会の見解を紹介します。
日本共産党鴻巣市議団
竹田えつ子 すわみつえ
☎542-7072 ☎507-4151
FAX542-7101 FAX596-9440

法律・生活相談

毎月第4金曜日13:30~15:00日本共産党鴻巣市委員会事務所
法律相談の場合あらかじめ予約をお願いします。問い合わせは竹田えつ子、すわみつえ

2018年7・8月

こうのす民報(議会報告版)

「埼玉県は予算執行停止の解除を」

日本共産党が提出「特別養護老人ホーム整備事業者募集の早期開始を求める決議案」否決

埼玉県議会2月定例会において、特養の待機者数に対して、介護職員の不足などにより県内特養の空きベッドが702床あることなどを理由に、「特別養護老人ホーム等整備事業費」予算の執行を停止する決議が採択されています。

鴻巣市の特養待機者数は208名(2018年5月1日)にのぼり、高齢者が高齢者を介護する老老介護、認知症患者が認知症患者を介護する認認介護など、家族介護は限界となっている事実があります。

介護職を希望する人が少ないのは待遇に問題があります。国に対して介護職員の待遇改善を求めるることは当然です。

そして、埼玉県議会においては、直ちに予算執行停止を解除し、特養ホーム募集事務を開始することを要望する決議を鴻巣市議会で採択することを提案しましたが、賛成少数で否決されてしましました。



中小企業優遇措置廃止の市税条例案に反対

「鴻巣市税条例の一部を改正する条例案」は、「生産性向上特別措置法」に基づくものです。中小事業者にAIやIOTなど新たな情報技術を活用することで市税の優遇措置があるというものです。一方で中小企業の設備投資に係る固定資産税の減税を受けている鴻巣市の中小事業者は、今回の条例改正により2019年3月31日で優遇措置が廃止されます。中小企業に対して充分な支援を行なうことは当然必要です。すでにある減税措置が利用できなくなることから反対をしました。

「一般会計補正予算」では、「いこいの家」アスベスト回収・常光児童館空調交換・高齢者グループホーム施設改修などの増額は理解しますが、生活保護費引き下げに伴うシステム改修費162万円が含まれています。

安倍政権のもと、生活保護費は2013年に最大10%の引き下げを行い、これに続いて2018年10月から2020年10月まで3年連続で減額する計画となっています。苦しい生活をさらに追い込むことになります。

また、生活保護基準の引き下げは生活保護世帯のみにかかるものではありません。就学援助費・介護保険料・国保税の減免・高額療養費の減免基準など、生活保護基準をベースにした制度を利用されている市民の方にも大きく影響をおよぼします。また、最低賃金にも運動するもので、市民の生活を守るために、反対をしました。

歴史的米朝首脳会談を心から歓迎します

しんぶん「赤旗」より抜粋

日本共産党は、長年にわたって厳しく敵対してきた米国と北朝鮮が、初の首脳会談を行ない、朝鮮半島の非核化と平和体制構築をすすめ、両国関係を敵対から友好へと転換させるために努力することで合意したことに対して、心からの歓迎を表明する。

一、非核化と平和体制構築を実現するために、米朝両国の努力とともに、関係各国、国際社会の協調したとりくみが必要である。平和を求め、核兵器のない世界を求める諸国民の世論と運動が不可欠である。

とりわけ、日本政府が、日朝平壤宣言にもとづき、核・ミサイル、拉致過去の清算などを両国間の諸懸案を包括的に解決し、国交正常化のための努力をはかり、開始された平和のプロセスを促進する役割を果たすことを強く求める。拉致問題の解決も、そうした努力のなかに位置づけてこそ道が開けることを強調したい。

南北首脳会談と米朝首脳会談によって開始された平和のプロセスが成功をおさめるならば、世界史的一大転換点となり、地域の情勢を一変させるものとなるだろう。日本共産党はそのために引き続きあらゆる努力を続けるものである。

本当がわかる
明日が見える

しんぶん
赤旗

●日刊紙／月3,497円
●日曜版／月823円



憲法、社会保障、原発、雇用、TPP...
「本当のことが知りたい」その思いに
こたえる新聞です。暮らしに役立つ
情報も満載です。

